



# 幸樹

こう じゅ

## 第52号

2019年7月1日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



### 絵・井上 忠司

愛知県生れ。文化学院デザイン科卒業後、グラフィックデザインの世界へ。食品関係・洗剤関係の仕事を経てパッケージのアートディレクター（AD）になる。リタイア後に趣味で始めたバードウォッチングの魅力に夢中になり、二年間鳥の絵を描いてきました。さんしょうのご利用者です。

## 第21回地域交流カフェ

# 人形劇『幸福な王子』に 涙にじん で…

第21回地域交流カフェを6月18日(火)に開きました。今回は人形劇団さてになの皆さんによる『幸福な王子』上演(写真右)を中心に交流を楽しみました。(岡本健吾)

まずは腹ごしらえの昼食です。鯨のムニエル・トウモロコシご飯・あおさの味噌汁・牛肉入り切り干し大根・カブの一夜漬け・冷奴を皆でいただきました。新鮮な鯨は身がプリッとしていてジューシーで甘酢のタレと大葉・ミョウガのコンビネーションが絶妙で、トウモロコシご飯とも良く合い、「とても美味しかった」と好評でした。

お腹が満たされたところで、メインイベント「さてにな」の8人の皆さんによる人形劇の始まりです。

「さてにな」の名前は、「さ」→寒風台小学校のPTA関係者、「て」→手づくり、「に」→人形劇、「な」→仲間、という由来からつけたそうです。29年余の間、活動を続けているそうで、素晴らしいですね！

まずは、昔話『若返りの水』の絵本を朗読していただき、「何事もやりすぎや欲張りは、いかんです」ということをあらため確認した後、『幸福な王子』の人形劇を鑑賞しました。王子様と旅するツバメの優しさと哀愁が漂う物語で、ストーリーや人形の動きだけでなく、音楽や語りもしっかりと構成されており、皆さん童心に帰って見入っていました。中には涙を浮かべている方々も…。そういう私も、不覚ながら少しウルッとしてしまいました。クオリティの高い内容で、自然に感情移入ができました。



人形操り体験では、さんしょう利用者の佐々木裕子さん、鈴木實さんが前に出て人形を操る体験をしました(写真上)。特に、鈴木さんの操る人形の動きがコミカルで、会場いっぱいに大笑いが湧きました。

その後、職員・小早川貴美さんなどによる「イラスト



ト付ツバメクイズ」を楽しみ、最後は職員手話部のリードで『見上げてごらん夜の星を』を参加者全員が手話で合唱しました(写真下)。壮観でした。

次回の地域交流カフェは、恒例の『夏まつり』です。もうこの季節なのですね。日程は8月20日(火)です。皆さん奮ってご参加下さい！



### ツバメだよ！…その2

#### カラス撃退案山子が登場したが

6月はじめ、からたち薬局玄関にあったツバメの巣がカラスの襲撃により破壊され、卵と雛が無くなってしまいました。ピロティに残っている巣もカラスに狙われていました。そこで、さんしょう利用者の三浦辰男さんと職員・原広和さんがカラスを撃退しようとして案山子を製作しました(写真)。力作ですが、親ツバメの巣への戻りが間遠になっており、心配です。



16歳から  
働いて  
きたよ



## 「飲み歩いて、家族に迷惑かけた…。 で、今の楽しみは晩酌！」

三浦辰男さん(79)は、さんしょうのご利用者です。左下の記事のツバメの巣を守るためにつくったカラス撃退案山子の作者です。団扇にかかれた案山子の顔は「三浦さんにそっくり」ともっぱらの評判(写真)。その三浦さんにお話をお聞きしました。(中村佐智)

私は、中学を卒業した16歳から働きに出た。

最初は、中学の先輩がいたのでパン屋さんに就職したが、1日18時間労働、しかも日給が1000円と少なく、半年で転職した。

それから、マブチモーターの下請け工場へ入職し、そこで16歳から定年まで働いた。

頑張っって働き、お金を貯めて23歳で家を購入した。船橋から働きに来ていた女性と縁があって結婚し、娘2人、息子1人の3人の子供に恵まれた。子供が生まれて狭くなり28歳で家の建て替えをした。工場長と仲良くなって、子供たちのランドセルを買ってもらったりした思い出がある。

自分が飲み屋さんをやりたくて、妻にスナックを開かせた。5年くらい店をやったが、自分は飲みにはいかず、他の店に行っていた。あちこちになじみの店があつてよく飲んで、家族には迷惑をかけた。夫が飲みに行ったらやりにくいだろうと思って、妻の店には結局行かなかった。妻は夜中の24時まで店をやっていたので、時々迎えに行っていた。

好きなことはカラオケ、お酒、たばこだったが、たばこは45歳でやめた。

娘2人が嫁に行つて、息子と2人暮らし。息子が何をして働いているのかもわからないんだよ(笑)。

…時々、さんしょうフロアーに三浦さんの鼻歌が流れてきます。

介護職

の

こころ

## 看護小規模多機能型居宅介護さんしょう 介護主任 西川 智恵

さんしょうがスタートして今年の9月で丸3年を迎えようとしています。この2年半以上でご利用された方は90名弱になります。現在も利用されている方、元気になりさんしょうを“卒業”した方、他の施設に移動した方、自宅や病院で亡くなった方、そしてさんしょうでお看取りをさせていただいた方々がいらっしゃいます。

私は、人の死を目の当たりにしたことは親族以外に経験がなく、当初は戸惑いや悲しみ、と言った感情が心の中を占めることが多かったように思います。当然人が亡くなることはとても悲しい事実です。しかし介護職として亡くなった事だけを切り取るのではなくその方がその日まで過ごす日々を私達がどのように関わり、満足できる生活のお手伝いをすることが出来るのかが大事なのではないかと感じるようになりました。その人がその人らしく「生きる」お手伝いです。

## その人らしく「生きる」お手伝い

ご本人のみならずご家族の気持ちも大切にしたいと思うことがあります。ご本人が衰弱して、口からご飯を食べたいが食べることに難しくなつてゆく過程があります。家族は、なんとか食べさせてあげたいという気持ちになります。無理すると、むせたり誤嚥してしまいます。一人ひとりの食事ケアは、とても悩むところです。医師や看護師の診断や判断を仰ぐ必要もあります。看護師に「今日は何か口にしても大丈夫か?」、他の介護職と「今日は食べられたよ」など情報を共有することで、ご本人や家族に私達のケアが緩やかに受け入れられた時は、ホッとした気持ちになります。

色々な経験をさせていただきながら私達介護職は成長してきました。まだまだ足りないところもありますがチーム一丸となつて「その人がその人らしく生きる」お手伝いをしたいと思います。



梅干しづくり

## デンマーク便り...⑱

ラスムッセン 京子



デンマークの国会議員（一院制）総選挙が6月5日に終わり、社民党を筆頭とする中道左派の大勝となりました。自由党と与党などの中道右派政府から4年ぶりに政権を奪還しました。社民党(Social Democracy)を中心に革新党(Radical)、社会人民党(Social Forlk)、合意党(Enhedslist)の4党による連立政権の誕生です。

中道左派陣営は過半数91議席を確保、中道右派陣営は75議席。社民党が得票率で第一党の位置を維持しました。

### 中道左派政権が誕生 福祉ファーストに新たな期待

社会民主党の党首 Mette Frederiksen (フレデリクセン) は41歳の女性です。彼女を首相として新内閣が成立しました。女性首相としてはデンマークで2番目、そして首相としては最年少です（写真中央）。



Mette Frederiksen (フレデリクセン) が新しい20名の大臣を指名しました。どの大臣も、主に彼らの個人的な業績・実績に基づいて選ばれています。勤勉に自分の仕事に向かい成果を出してきたことが大臣を選ぶ重要な基準です。この内閣は、社会福祉充実に強い考え方をもち社会民主的チームです。「彼らは社会における民主的な価値観を強く心に抱いている」と Mette Frederiksen (フレデリクセン) は言います。

新しい大臣チームは、7人の女性と13人の男性で構成され、平均年齢は41.8歳の清新な内閣です。

木曜日の午後、各大臣が新旧交代の閣僚の異動がある前に、旧政権からの各大臣と新しい社会民主党との連立政権の大臣の両方が、アマリエンボーで女王から認証を受ける必要があります。

そして、これから新たな福祉拡充をめざす政治の動きに期待が高まります。

## 第17回さんしょう運営推進会議(6/18)の報告

参加者は利用者・家族の佐藤初枝さん、杉本エミさん、井上忠司さん、大岡甫さん、濱田靖彦さん、高齢者支援たんばぼの会・鈴木道子さん、東部包括支援センター・末澤恵子さん、三和病院・石橋朋美さん、看多機わいわい豊夢・須藤雄大さん、看多機かえりえ・大森豊さん、看多機サボテン・乾憲司さん、幸樹会職員4名。ご参加ありがとうございました。

水害想定訓練(5/21)の報告をしましたが、参加者から、河原塚周辺の過去の水害の状況や注意した方がよい場所などのアドバイスをいただきました。

4月に2名、5月に3名の方々とのお別れがありました。自宅で亡くなった方、病院で亡くなった方、さんしょう施設内での看取りをさせての方の報告をさせていただきましたが、お別れとなった方々を偲ぶ機会ともなりました。参加していただいた利用者からは「さみしいけれど、こんな風に見送ってもらえるならば、私も死ぬときはここで看取ってくださいね」との発言もいただきました。

開設以来、私たち職員は、多くの方々の看取りの支援をさせていただいてきました。大先輩の一人ひとりの人生の時間を大切に、喜びや悲しみを一緒に共有し、共感できることを喜びと思える支援が、少しずつ各職員が理解し実践できるようになってきているかなあ、と思っています。

参加者から「自分の生きがいを探していく大切さ、延長線上に看取りがあると良いなあという風に思いました。介護職の苦労話も聞いてみたい」とのご意見もいただきました。（大塚かすみ）

### 八柱学習会

●前回報告6月21日(金)。助言者 武井幸穂氏  
『NHKスペシャル・認知症革命第2回-最後までその人らしく』を視る

参加者12人。この間、「国際生活機能分類(ICF)」「パーソン・センタード・ケア」「ユマニチュード」等を少しずつ学んできましたが、これらに共通する生きる個人の尊重、その人らしさを尊重するケアと地域づくりが世界のあちらこちらで進んでいることを視ることができました。「若年性認知症の方の働き場所・居場所探しから始まった富士宮市の地域ぐるみの認知症ケアの取り組みは素晴らしい。はじめて知りました」

▼次回学習会予定(「定例日：毎月第3金曜日」)

●7月19日(金)、18:30~

- ・医療的ケア児・障がい者支援について
- ・NHK目撃につぼん! 「この命とともに~ひかるちゃんと家族の日々」を視る

場所：幸樹会館2階会議室《参加自由》

職員募集！非営利・働きがいある職場  
看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり  
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550

今月の屋上太陽光発電量は、

874KWh



幸樹会館電力使用量 4074KWh 自給率 21.46%